

区民のページ

各区からのお知らせや魅力・取り組みなどを紹介します。

※人口は住民基本台帳による数（令和2年7月31日現在）。



北 区

人口：296,394人 面積：450.70km²

北区役所

〒700-8544 北区大供一丁目1-1（市役所本庁舎および分庁舎内）

“原始温室”って？

～マスカット温室栽培の礎～

日本一の生産量（全国の9割以上）を誇る岡山のマスカット・オブ・アレキサンドリア。エメラルドグリーンに輝く上品な香りの「果物の女王」は、津高地区で産声を上げました。

エジプト生まれのマスカットを育てるには、雨のあたらない環境で温度を適温に保つ必要があります。

明治19年（1886年）に岡山で初めてのガラス温室が建てられ、本格的なブドウ栽培が始まりました。その後、瀬戸内の恵まれた気候風土とともに、農家の人たちが営々と研究と

工夫、試行錯誤を積み重ね、やがて量産が軌道に乗り、全国に誇る生産地となりました。

そして、昭和31年に天皇・皇后陛下がマスカット栽培を見学されたことを記念して、発祥の地である北区栢谷に片屋根式のガラス室が復元されました。「原始温室」と呼ばれ、

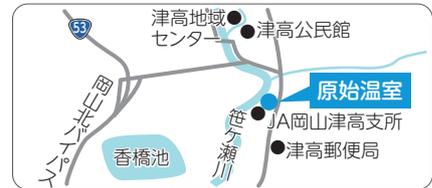


▲マスカットの原始温室

J A岡山津高支所から北へ100m、旧国道53号線の西側にあります。

地元の農業後継者クラブの管理により、温室内部では現在も当時に近い方法で栽培が行われています。

ぜひ皆さんも訪れて、130年の歴史と伝統を感じてみてはいかがでしょうか。



●問い合わせ・原始温室の管理

スリーAクラブ 前原さん
☎080-3887-0633



中 区

人口：147,766人 面積：51.24km²

中区役所

〒703-8544 中区浜三丁目7-15

二の荒手

～百間川の災害痕跡にある復旧の歴史～

百間川は、岡山城下の洪水被害を軽減するために、荒手と呼ばれる越流堤と、洪水を放流するための水路を組み合わせた旭川の放水路で、江戸時代に築かれました。その名称は「二の荒手」の幅が百間(約180m)であったことに由来しています。この築造工事は、児島湾北岸の新田開発とも密接に関連しており、「治水」と「開発」を両立させた土木技術であったと言われています。

旭川分流点に「一の荒手」があり、続いて百間川の中に石積みの「二の荒手」「三の荒手」が作られました。

これらは越流した水の勢いを緩めるとともに、流水が運ぶ土砂を沈殿させる機能がありました。

「二の荒手」は近年改修工事が行われ、その際に発掘調査が実施されました。堤体の内部からは江戸時代後期以降の出土品が発見され、また、石積みにも補修の痕が認められたことから洪水のたびに何度も補修されたと推測されています。

つまり、百間川が完成後300年以上にわたり、市街地を洪水の氾濫から守り続けてきた歴史を刻んできたことが明らかとなったのです。ここ

から学べることは、過去の人々が知恵を絞り、技術を駆使して自然災害に立ち向かってきた姿勢と、それでも洪水被害はたびたび起きていたという事実です。「二の荒手」は、普段から自然災害に対する備えを怠らないことの大切さを教えてくれているのではないのでしょうか。



▲二の荒手

●問い合わせ

中区役所総務・地域振興課
☎086-901-1642

各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表 ☎086-803-1000



東区

人口：94,911人 面積：160.53km²

東区役所

〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

砂川伝承碑建立

～伝え、繋げよう、明るい未来へ～

平成30年7月豪雨により砂川の堤防が決壊し、住宅約2,000戸が浸水した被災の記憶を継承するため、平島学区連合町内会が、決壊箇所である東区沼地内に「伝承碑」を建立しました。伝承碑は、決壊地点・浸水範囲を示した地図や最大1.5mの高さまで浸水したことを記載したほか、住民同士で避難を呼び掛ける「共助」により、死者や行方不明者が出なかったことを紹介しています。

7月5日に行われた除幕式には地元住民をはじめ約40人が参加し、「同じような災害が二度と起きない

ように」との願いを込めて、被災の記憶を風化させることなく、未来へ繋ぐことを誓いました。

砂川では、被災箇所の一連の復旧工事は完了しましたが、「河川激甚災害対策特別緊急事業」（6月末現在の工事進捗率：17%）などの改良事業を進めています。事業を推進す



▲砂川伝承碑 平島学区連合町内会細川会長

るに当たり、引き続きご理解とご協力をお願いします。



▲一連の復旧が完了した砂川堤防



●問い合わせ

県備前県民局建設部河川激甚災害対策班 ☎086-233-9867



南区

人口：169,507人 面積：127.48km²

南区役所

〒702-8544 南区浦安南町495-5

中央卸売市場

～市場ふくふく通りへ行ってみよう！～

中央卸売市場は、昭和58年に市内青江から現在の南区市場一丁目1番地に移転・開場して、37年余りが経過しています。時代とともに市場の果たす機能も徐々に変化してきていますが、市民の台所を支える存在として、また、産地を支える存在として、これまで安心・安全な生鮮食料品の卸売りを行ってきました。

市場内には、市場で働く人や、市場利用者の利便を図るための「関連商品売場棟」という施設があります。平成21年度からは一般市民にも開放され、関連商品売場棟の中央通りは

「市場ふくふく通り」という愛称で呼ばれるなど、多くの市民や観光客でにぎわう通りとなりました。

「市場ふくふく通り」には、鮮魚・青果店はもちろんのこと、お腹を満たしてくれる、おいしい飲食店がたくさんあります。市場独特の雰囲気のお店もあり、観ているだけでも楽しむことができます。

どなたでも気軽に立ち寄っていただけの「市場ふくふく通り」では、どのお店も元気に営業していますので、皆さんぜひ一度ご来場ください。



▲市場ふくふく通りの様子



●問い合わせ

市場事業部 ☎086-265-8001